

HOPE介護レポート -(2)

介護関心者200人パネル 第1回レポート

2000年6月

博報堂エルダービジネス推進室

調査目的 : 介護高関与度層における、介護サービス・介護用品に対する関心度、その情報源を把握する。

対象サンプル : 「高齢者在宅介護」に対する関与度の高い、40歳以上の男女個人 200サンプル
 うち介護経験者 148サンプル
 介護未経験者 52サンプル
 「介護関与度の高い介護未経験者」の条件は「親しい人が誰かを介護していて、その実情を聞いて介護を身近に感じている」
 <サンプル構成>

	男性 75サンプル	女性 125サンプル
40～64歳 135サンプル	介護経験者 38サンプル 介護未経験者 17サンプル	介護経験者 55サンプル 介護未経験者 25サンプル
65歳以上 65サンプル	介護経験者 15サンプル 介護未経験者 5サンプル	介護経験者 40サンプル 介護未経験者 5サンプル

対象エリア : 首都圏中心

サンプリング方法 : 専門スーパーバイザーを通じ、条件に適合するサンプルをリクルート。

調査方法 : 郵送調査

実施時期 : 2000年4月10日(月)～14日(金)

<介護経験者サンプルのケースプロファイル>
 (複数回答 延べ件数181件)

被介護者(血縁関係)

- ・自分の父親 26件
- ・自分の母親 55件
- ・配偶者の父親 24件
- ・配偶者の母親 45件
- ・配偶者の兄弟、姉妹 1件
- ・配偶者 24件
- ・その他 6件

被介護者の身体の状態

- 寝たきり 44件
- 介助による移動可能 76件
- 自力による移動可能 51件

被介護者の意識

- はっきりしていた 84件
- 時々はっきりしない 74件
- はっきりしない 23件

介護サービスへの関心度の高さは、
身体介護 > 家事援助
訪問サービス > 施設利用

「ケアプラン作成」への関心も高い。

介護サービスの 2大情報源は、「自治体」と「マスメディア」。
また「役に立つ情報源」は、「自治体」の他、
「医師」「身近な人たち」。

関心の高い介護用品は、
「ベッドまわり」「排泄関連」「浴室まわり」「移動介助関連」
「緊急通報システム」。

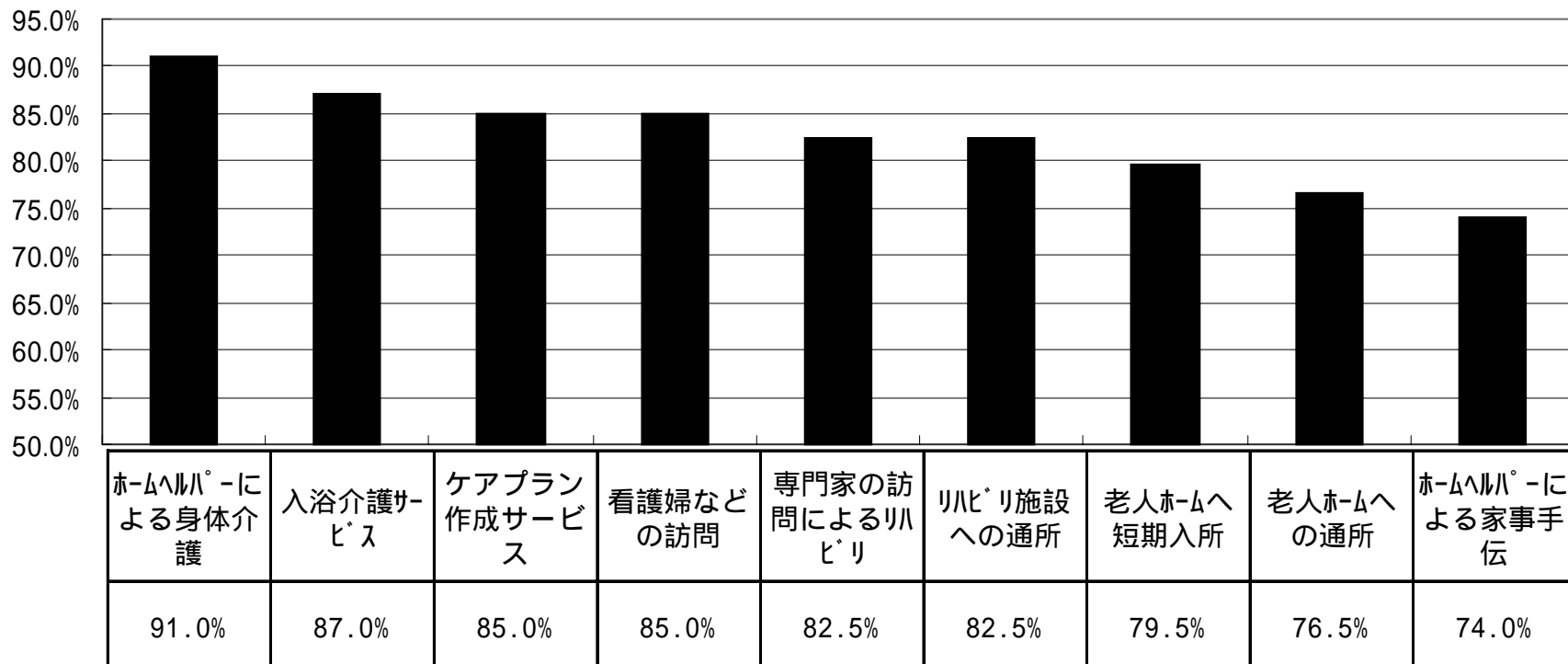
介護用品の情報源も、「自治体」と「マスメディア」の
ウエイトが高い。
また「役に立つ情報源」は、「自治体」「医師」「身近な人たち」
の他、「介護ショップ」「看護婦」も。

調查結果

関心度の高さは、
身体介護 > 家事援助
 介護としての「専門性」実感の差？
訪問サービス > 施設利用
 施設は「連れて行くのが一苦労」？

「ケアプラン作成」への関心も高い。
 「介護保険制度」でクローズアップされた。

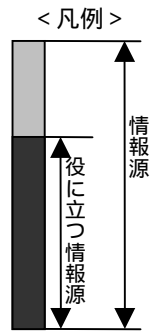
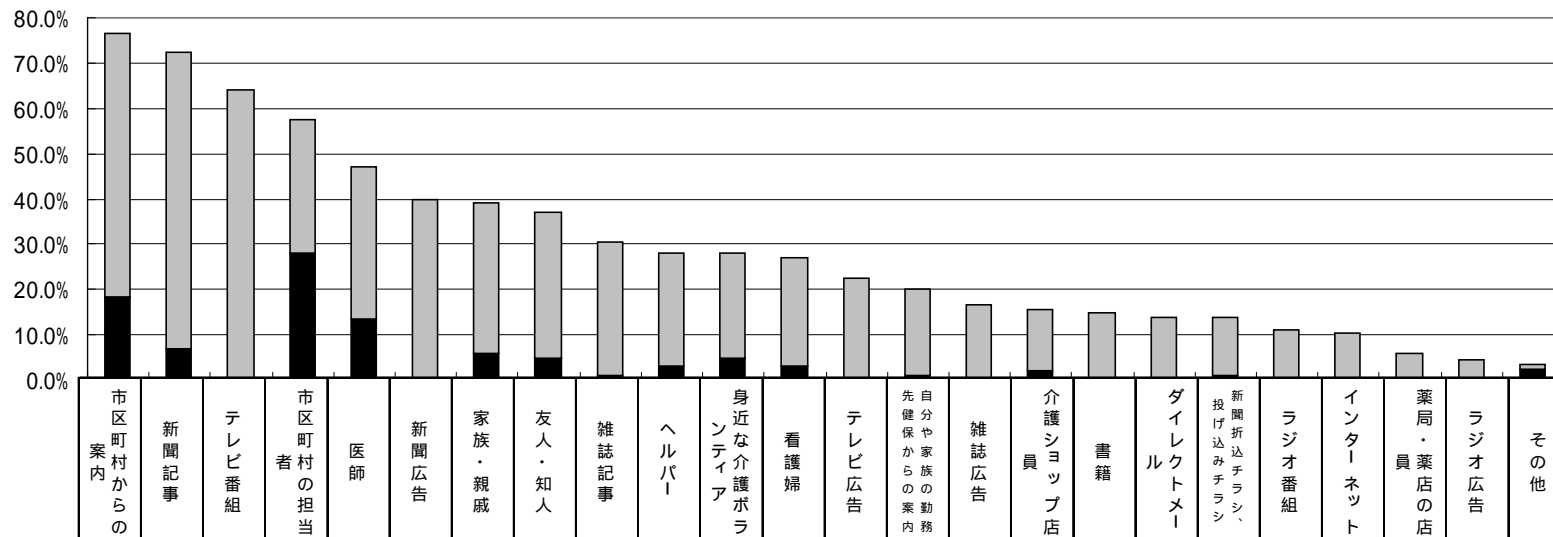
<全体> (N = 200)



「自治体」と「マスメディア」が2大情報源。
 「身近さ」と「広さ」。

「役に立つ情報源」は、「自治体」の他、「医師」「身近な人たち」。
 役に立つのは「身近な情報源」。

<全体> (N = 200)



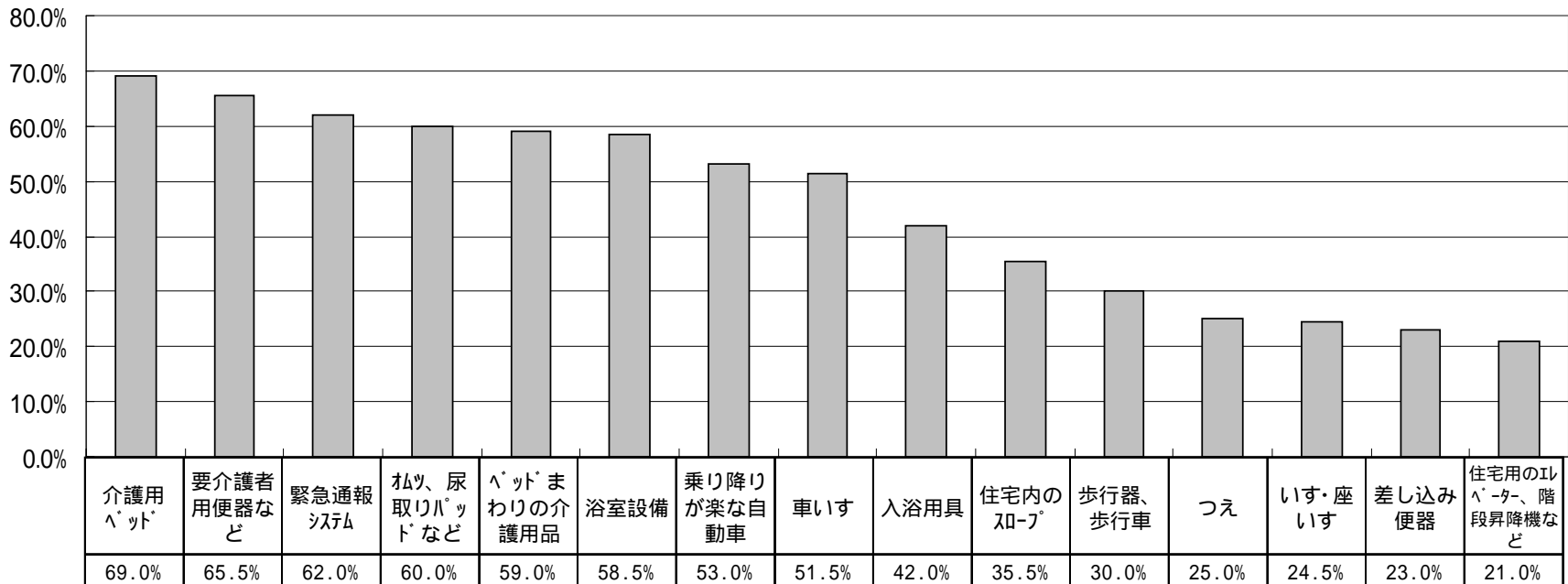
情報源 (MA)	76.5%	72.5%	64.0%	57.5%	47.0%	40.0%	39.0%	37.0%	30.5%	28.0%	28.0%	27.0%	22.5%	20.0%	16.5%	15.5%	15.0%	14.0%	14.0%	11.0%	10.5%	6.0%	4.5%	3.5%	
役に立つ情報源 (SA)	18.5%	7.0%	0.5%	28.0%	13.5%	0.5%	6.0%	5.0%	1.0%	3.0%	5.0%	3.0%	0.0%	1.0%	0.5%	2.0%	0.5%	0.5%	1.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	2.5%

関心の高い介護用品は、
「ベッドまわり」「排泄関連」「浴室まわり」「移動介助関連」
 介護における「基本アイテム」

「緊急通報システム」への関心も高い。
 「セキュリティ」への関心の高さ

<全体> (N = 200)

食事関連、衣服関連の介護用品については、第2回調査で聴取予定。



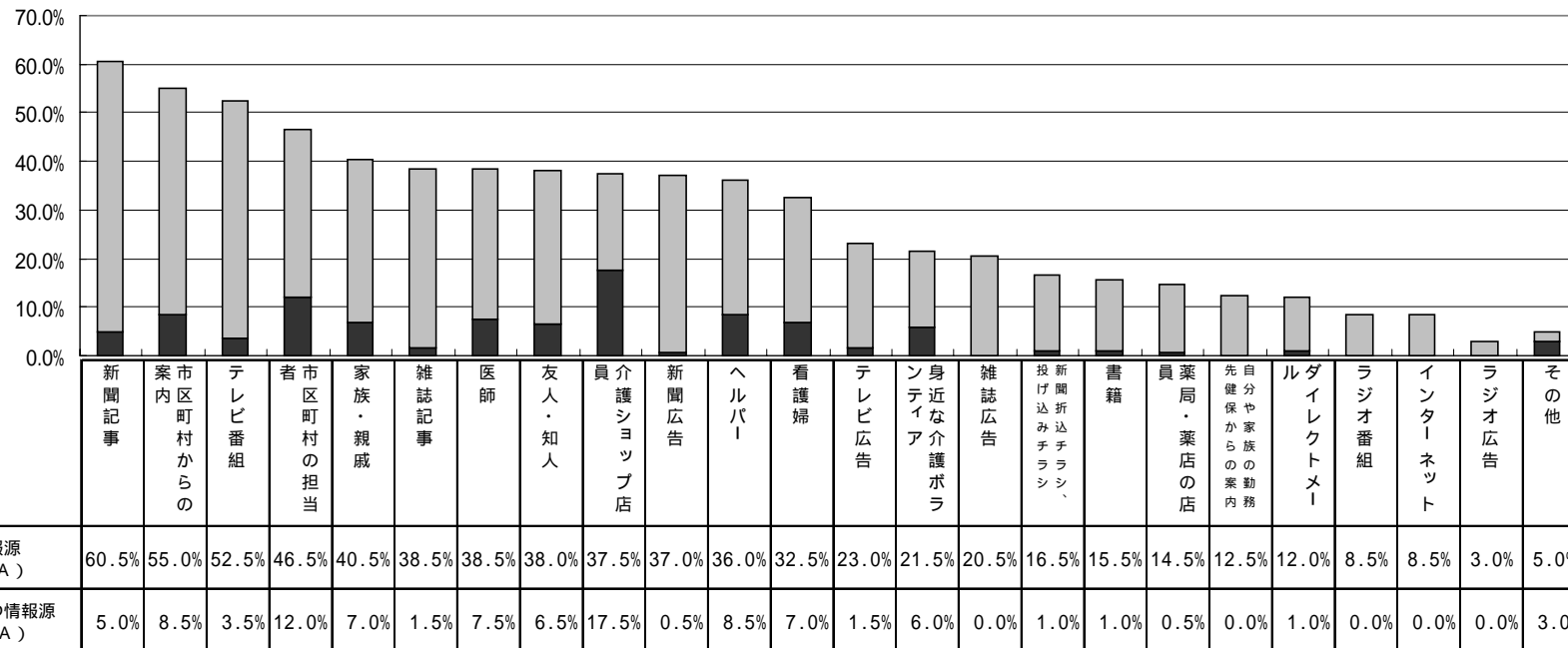
介護サービスと同様、「自治体」と「マスメディア」のウエイトが高い。

ただし、介護サービスほど情報源が集中しておらず、「情報源の多様化」が見られる。

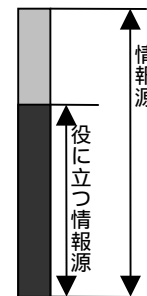
「役に立つ情報源」は「自治体」「医師」「身近な人たち」の他、「介護ショップ」「看護婦」も。

「実際に介護用品を扱っている人、使っている人」の情報も参考にされる。

< 全体 > (N = 200)



< 凡例 >



具体的に関心度を聴取した介護サービス、介護用品以外に、気になるものを具体的にあげてもらったところ

**介護者の介護負担軽減に関するものが最も多く、
次いで被介護者の日常動作を楽にするためのもの、
「情報収集」「経済的負担軽減」「介護者の心身のケア」に関するものが続く。**

**個別では、「介護サービス（事業者）の情報開示」「介護者の心のケア」
「介護者の健康管理」「介護費用の補助」（以上、介護者のため）、
「着脱が楽な衣服」（被介護者のため）が多くあがっている。（ニーズが高い）**

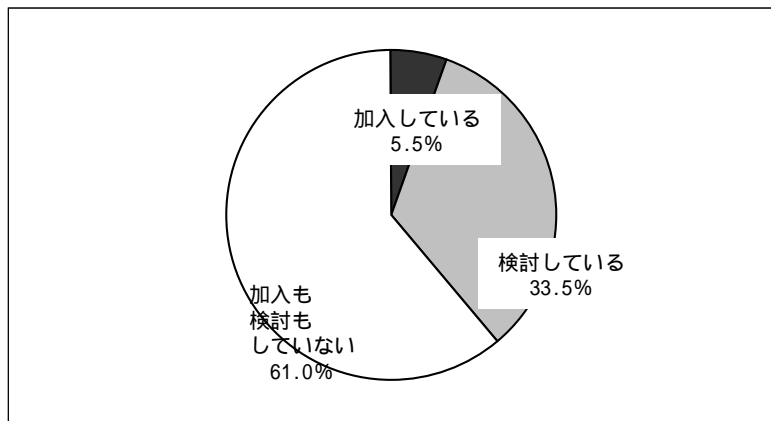
< 回答分類 > (N = 200 延べ件数155件)

介護者のため 計81件	被介護者のため 計56件	双方のため 計18件
情報収集 小計17件 ・介護についての相談窓口 4件 ・介護サービスの情報開示 10件 ・介護用品カタログ 3件	日常動作を楽に 小計20件 ・着脱が楽な衣服 9件 ・歩行介助用具 4件 ・食事介助用具 3件 ・介護食品 4件	介護保険制度 6件 ケアプラン作成 3件 徘徊対策 7件 介護マンション・住宅 2件
介護負担の軽減 小計27件 ・手続き簡略化・代行 2件 ・病院・施設への送迎サービス 3件 ・夜間介護サービス 4件 ・ショートステイ 3件 ・使いやすいオムツ 3件 ・ベッド・リネンの排泄対策 3件 ・便の臭い対策 4件 ・食事の宅配 5件	きれい、さっぱりする 小計8件 ・入浴介護 2件 ・衛生管理用品 2件 ・訪問理美容 4件	
経済的負担の軽減 小計17件 ・費用負担の不安 8件 ・介護費用の補助 6件 ・介護用品レンタルなど 3件	医療サービスの充実 小計8件 ・在宅医療サービス 2件 ・痰の吸引機 2件 ・リハビリ用具 2件 ・訪問歯医者 2件	
介護者の心身のケア 小計15件 ・介護者の健康管理 7件 ・介護者の心のケア 8件	被介護者の精神的ケア 小計7件 ・被介護者の心のケア 3件 ・被介護者の娯楽 2件 ・バリアフリーマップ 2件	
その他 5件	被介護者のセキュリティ 小計6件 ・住宅のバリアフリー化 3件 ・被介護者の財産管理 3件 その他 7件	

「介護特約付き生命保険」に
「加入」もしくは「加入を検討中」は、
全体の約4割。

男性、現役世代、介護未経験者で、
「加入もしくは検討中」の割合が高い。

<全体> (N = 200)



	合計	「介護特約付き生命保険」加入契約状況		
		加入している	検討はしている が加入していない	加入していない し検討もしていない
全体	200 100.0%	11 5.5%	67 33.5%	122 61.0%
性別	男性	7 9.3%	26 34.7%	42 56.0%
	女性	4 3.2%	41 32.8%	80 64.0%
年齢	40-64歳	10 7.4%	46 34.1%	79 58.5%
	65歳以上	1 1.5%	21 32.3%	43 66.2%
介護経験	介護経験者	7 4.7%	46 31.1%	95 64.2%
	介護未経験者	4 7.7%	21 40.4%	27 51.9%
居住形態	マンション/アパート	2 3.4%	26 44.1%	31 52.5%
	一戸建て	9 6.4%	41 29.1%	91 64.5%